

一般質問

# 町政を問う!

第3日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



## 小林 一男議員 (6ページ)

- ① 町政の運営方針について



## 石川 保議員 (7ページ)

- ① LRT開業に伴う町発展の構想について



## 中村 由美子議員 (8ページ)

- ① 町内の公共バスについて
- ② ふるさと納税について

### 次回の定例会は 9月4日からの予定です。

ただ今、多人数の傍聴受け入れは自粛  
させていただいております。

議会は、はがチャンネルでも放送します。

#### 放送時間

会議当日 午後8時から  
再放送 翌日の午後2時から



#### 一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の  
行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、  
所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受  
ける執行機関も共に十分な準備が必要なことから、  
通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以  
内とされています。



## 小林一男が問う 町政の運営方針について

**問** 町長選挙において3つ公約を挙げられているが、それぞれについて具体的な考えをお聞かせいただきたい。

①「総合計画の策定について」

**答** 町長 私は、芳賀町役場に入庁してから今まで、常に「芳賀町のために何をなすべきか」を念頭にまちづくりに取り組んでまいりました。芳賀町役場で培った行政経験、道の駅はがで学んだ経営感覚、そこに皆様からのご意見を取り入れることで、芳賀町をもっともっとよい町にできると考え、この職になることを決意しました。

計画につきましては、町民の皆様のご意見をしっかりと反映させるため、各種団体の代表からなる振興計画審議会を立ち上げ、今年度中に令和6年度からスタートする「第7次芳賀町振興計画」を策定したいと考えています。町民の皆様と共に考え、共に行動することで郷土に誇りを持ち、希望に満ちた住みよい町となり、芳賀町民の皆様が明るい未来を感じられるよう、目的実現のため、「人の流れが活発で働きやすい」「子育てしやすい」「学びやすく男女が共に活躍しやすい」「高齢者などが生き生きしている」「環境にやさしい」「情報の流れが活発で住みやすい」「安心できる」という7つのテーマを想定しています。

**問** ②「行財政改革について」

**答** 町長 1つ目は新たに策定する振興計画との整合性が取れるよう役場組織の機構改革を進め、効果・効率の上がる組織にしていきたいと考えています。また、部課長制から課長制への移行や事務分掌の見直しなども行いたいと考えています。

2つ目は、新たな振興計画の財源的な裏付けとなる財政計画を策定し、実効性のある計画となるよう取り組みたいと考えています。

3つ目は、町が実施する事業の成果が向上するよう、機能性の高い行政評価に取り組みたいと考えています。

**問** ③「信頼され支持される芳賀町役場について」

**答** 町長 各課の業務内容や業務量を把握し、問題点を洗い出すことによって、業務の無駄を省くと共に事務分掌の見直しを行い、効率的に仕事ができる環境を整えたいと考えています。職員は財産であるという考えに基づき、効果的な人材育成を図るため、人材育成基本計画の見直しを行い、行政課題を適切に解決する能力を育成したいと考えています。目指すべき職員像を掲げ、職員のレベルアップを図り、町民の皆様へのサービス向上につなげたいと考えています。

**問** 振興計画の裏付けとなる財政の中長期計画がない現状をどう考えるか。

**答** 町長 次年度の予算を編成するにあたっては、将来的な財政の見通しの中で次年度にどれだけの投資ができるか、どのような予算が組めるかを判断する必要がありますので、中長期財政計画は必須だと考えています。新たな振興計画の策定に併せて、財源の裏付けとなる財政計画を作成していきます。

**問** 多額の予算が計上される桜堤の整備についてどう進めるのか。

**答** 町長 今後の進め方としましては、桜の育成管理を含め、効率的・計画的に整備を進めていきたいと考えています。整備計画につきましては、費用対効果を踏まえ事業費が過大にならないよう配慮しながら進めていきます。

## 石川保が問う LRT開業に伴う町発展の 構想について



**問** 当町におけるLRT開業に伴う投資した財源は96億円に達している。町民にとって、言うまでもなくこのLRTが投資に見合う未来永劫利便性のある公共交通でなければならない。採算性も重要だが、利便性と価値観がより勝るものでならない。

都市計画法に基づき、下原地区の地区計画が進められている。この計画は将来の町の人口や、少子高齢化など多くの問題を解決する大変重要な事業であると考えられる。

つまり、これらの事業をしっかり位置付けすることが、芳賀町の発展につながるものと確信するがご見解を。

**答 町長** 各課のヒアリングを実施し懸案、課題があることが分かりました。これらの課題をしっかり調整し、町民の皆さまのご意見をしっかりと反映させたいと考えています。

振興計画については、生活拠点である下原地区の整備や、居住拠点である祖母井北部の整備などのほか、点在する空き家の利活用や子育て支援の充実など人口減少対策を強化します。

**問** 下原地区計画の位置付けを伺う！

**答 建設産業部長** 下原地区はLRTやトランジットセンターに近接する大変魅力的な地域特性を有しています。本地区を芳賀町第6次振興計画や都市計画マスタープランで市街化調整区域における生活の中心地である生活拠点と位置付け、良好な環境の生活拠点形成を図ってまいります。

**問** 谷津地区の生活道路などの生活環境がLRTに伴い利便性が後退していると思われる。この地域の環境改善が必要なのではないかご見解を。

**答 町長** 谷津地区の狭小な道路において、安全に通行できるように待避所などの設置を検討しています。地元の要望も踏まえ、未整備の箇所なども今後の交通状況の変化などを見定めながら引き続き検討していきます。



▲狭小な生活道路(谷津地区)



## 中村由美子が問う 町内におけるこれからの 公共バスについて

**問** 県の自動運転バスの実証実験が、本年度芳賀町でも行われるが、詳細は？

**答 町長** LRT開業後の、芳賀工業団地トランジットセンターを中心とした工業団地周辺のエリアが検討されています。詳細については協議会の意見を踏まえ、多くの方に自動運転車両を体験していただき、理解促進につなげていきたいと考えます。

**答 建設産業部長** 体験乗車期間として1~2週間程度行われ、詳細については協議会で決定されます。

**問** 南北をつなげる公共交通の進捗状況と今後の予定は？

**答 町長** 昨年度から進めている運行計画案を作成するため、移動需要の整理分析など幅のある検討を実施し、進めているところです。世帯数が増加している地区では高校生世帯の増加を見込み、その後の進学や就職につながります。ルートは、八ッ木エリアから芳賀町工業団地トランジットセンター経由橋場路線バス停への接続を考えています。朝と帰宅時間帯のピーク時運行を基本に考え、諸条件を勘案して計画します。

**答 建設産業部長** 令和6年4月からの運行を予定し、ルートは今年の秋頃、ダイヤなどは来年の2~3月頃、できるだけ早く町民の皆様にお知らせすることで利用促進につなげていきます。

**問** 町の中心である祖母井やスポーツ施設までのアクセス、中学校の路線バス利用などの考えは？

**答 建設産業部長** スクールバスとしての利用についても、今後計画策定する中で検討しているところです。皆様からの声も伺いながら段階的に、利用しやすい路線を作っていきたいと考えます。



## ふるさと納税の取組みを問う

**問** 町の取り組み方次第で大きな収入となるふるさと納税だが、2021年度の芳賀町は県内最下位の346万円。今年度の取組みと、今後の目標は？

**答 町長** 令和3年度からふるさと納税サイトの掲載を開始し、工業団地製品を追加したことで件数増加となりました。今年度はサイト掲載を拡大し、町の魅力発信と来訪者増加につなげたいと考えます。また、体験型として『温泉とBBQプラン』の返礼品を提供します。

**問** 町内唯一のゴルフ場でのふるさと納税の考えは？

**答 企画課長** ゴルフ場に意向を伺いながら、実現に向けて取り組みたいと考えます。

**問** 全国的に鉄道ファンは多く、LRT関連グッズやレア品などの返礼品の考えは？

**答 企画課長** LRT公式グッズの活用と、商品開発や取り組みも進めていきたいと考えます。



▲ふるさと納税の返礼品になっている梨・米・イチゴ